

## 令和元年度

### 実地指導の結果について

**実地指導**とは、都道府県および市町村から担当者が介護サービス事業所へ出向き、適正な事業運営が行われているか確認するものです。

実地指導は、介護サービス事業者の育成・支援に主眼をおきつつ制度管理および保険給付の適正化とよりよいケア実現につなげることを目的して行います。

国東市の条例や国省令通知などにに基づき作成された自主点検票や勤務体制等を実地指導前に提出していただき、当日はその内容確認していき指導を行います。

実地指導は監査ではありませんが、実地指導の際に、著しく不適切な点が見受けられた場合、監査に移行する場合があります。

【過去の实地指導実績と計画】

事業所種類	市内事業所数	実施数	実施年度
小規模多機能型居宅介護	2	2	平成26年度
地域密着型介護老人福祉施設 入所者生活介護	3	2	平成27年度
認知症対応型共同生活介護	5	5	平成28年度
認知症対応型通所介護	2	2	平成29年度
地域密着型通所介護	3	3	平成30年度
小規模多機能型居宅介護	3	3	令和元年度
地域密着型介護老人福祉施設 入所者生活介護	3	3	
認知症対応型共同生活介護	5(予定)	5(予定)	令和2年度

地域密着型サービス实地指導結果概要

■ 文書での指摘(回答を求めたもの)

<p>入所者預かり金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 印鑑と通帳の保管責任者と取扱責任者が同じ方になっている。印鑑と通帳でそれぞれ違う方を責任者とするように改善すること。</li> </ul> <p>介護報酬</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 精神科医師配置加算について、現在の回診記録では、入所者のうち5名分しか医師の診察記録の確認ができなかった。他の入所者の療養指導を行ったことが確認できる書類の整備を行うこと。</li> </ul>
--

■ 口頭での指摘(回答の必要はないが指摘したもの)

<p>①重要事項説明書</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 契約時に同意を得た後、報酬改定等で重要事項に変更があった場合に同意が取れていない。変更の都度、利用者又はその家族の同意を得ること。</li> <li>➤ 重要事項説明書7条に、利用料の3割負担を今後明記すること。</li> </ul> <p>②契約書</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 契約書の保存期間が、2年間となっているが、その他の記録簿等、書類の保存期間は、市の条例により、5年間となっているので見直すこと。</li> <li>➤ 契約の相手の氏名が記載されていない。記載すること。</li> <li>➤ 契約の終了の条項で、要支援認定となった場合とあるが、この条文は削除すること。</li> </ul>
--

③自己評価及び外部評価

- 自己評価を少なくとも年1回以上行うこと。また、その評価を運営推進会議で報告すること。

④掲示

- 事業所の見やすい場所に、運営規程の概要、従業員の勤務の体制その他の利用申込者のサービスの選択に資すると認められる重要事項を掲示すること。

⑤ 介護報酬

- 日常生活継続加算について、加算の算定要件を満たしているか、毎月確認を行っている書類が確認できない。毎月点検をすること。

⑥ サービス担当者会議

- サービス担当者会議に出席した職員が実際には参加していない。開催日が間違っていたケースがある。
- 「残された課題が」整理された記録になっていない。サービス担当者会議の位置づけは、利用者のケアプラン作成のための重要な会議です。各担当者から専門的な意見、様々な情報共有の場にもなりますので、しっかり検討・協議しその内容を記録していくこと。

⑦ ケアプラン

- 「長期目標」と「短期目標」の目標設定が区別できていない。「長期目標」は、生活全般の解決すべき課題に対応すること。「短期目標」は、長期目標を段階的に対応し、解決に結びつけること。大分県介護支援専門員協会の「ケアマネジメントプロセス支援マニュアル」を活用し、ケアマネジメントのプロセスを押さえること。国東市地域ケア会議実施要綱に該当するケアプランがあれば随時、地域ケア会議にて検討すること。

⑧ 研修

- 職場内研修や県・市等が開催した研修に参加した書類はあるが、具体的な研修内容や復命等の記録はない。研修に参加していない職員の周知にもなるので、復命書を作成し、回覧をすること。

⑨ 苦情相談窓口

- 苦情相談窓口の市の支所の名称を「地域振興課」に変更すること。

⑩ その他

- 介護事故で、誤薬の報告が多い。再発予防に努め、速やかに改善すること。